

告示	番号	56	悪性新生物
	疾病名	神経節膠腫	

神経節膠腫

しんけいせつこうしゅ

概要・定義

腫瘍性格を持つ大型の神経細胞とグリア細胞からなる腫瘍で、生物学的には良性の腫瘍（WHO グレード I）である。

症状

大脳に発生しやすく、側頭葉に多く前頭葉、頭頂葉がこれに次ぐ。大脳に発生すればけいれんで発症し、高次脳機能障害、情動障害、増大すれば頭蓋内圧亢進症状を来す。小脳、基底核、脊髄にも発生し、局所の脳もしくは脊髄の症状を呈する。

治療

腫瘍の摘出が第一選択である。残存腫瘍に対する放射線治療の有効性は証明されていない。組織診断で悪性所見があれば再発しやすいので放射線治療が薦められる。

抜粋元： http://www.shouman.jp/details/1_6_82.html